

# 大田区内のSDGs活動のネットワークを!

## 「おおたSDGsタイムズ」発行への取り組み



大田ネットワークは、2019年大田区生活展でSDGs体験ワークショップを開催、2021年生活展では学習会「地球環境に今、なにが起こっているか」を開催し、関心が高まりつつあるSDGsを具体的に大田区内での活動に結びつけるための方法を模索してきました。

その模索の中で、大田区内で具体的にSDGs活動を始めている団体・個人のネットワークと情報共有が必要だ、と考えるようになりました。

また一方で、すでに学校教育ではSDGsが組み入れられるようになり、若い世代の人々は関心も高く知識はありますが、参加する実践の場が見つからない!という話も聞くようになりました。私たちにできることはなんだろう?

そこで、四半世紀にわたって月刊の地域情報誌を発行してきた私たちにできることとして、SDGsに特化した情報紙(フリーペーパー)編集・発行を軸とした「おおたSDGsタイムズ」の立ち上げを進めることにしました。

おおたSDGsタイムズは、

-  SDGsの情報提供と、地域での実践者の取材を通じて、
-  多世代の人々をSDGsの実践につなげる提案をしていくことをめざします。

詳細は、「おおたSDGsタイムズ」設立企画書をごらんください。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS





# 「おおたSDGsタイムズ」設立企画書(2022/7版)

## 設立趣旨

■SDGsは2015年9月に国連加盟193カ国によって採択された「持続可能な開発目標」であり、2030年までの行動計画として、17の目標と169のターゲットから構成され、政府、自治体、企業、個人とあらゆるレベルで取り組みがされているものです。

■大田区内でも、ここ数年、SDGsをテーマにした講座、ワークショップなどが開催されるようになりました。こうした講座では大学生から20歳台、30歳台の、従来より比較的若い年齢層の参加者が目につくようになった、といわれています。学校でもSDGsをテーマにした授業が持たれ、企業でも企業活動をSDGsに関連させる取り組みが始まっていると聞きます。そういった背景もあり、SDGsへの関心は高くなっているようです。

■一方で、市民レベルでのSDGsへの取り組みは、企業・団体単位の内部で行われていることが多く、そうした企業や団体に属さない人々には、具体的な活動との接点がもちにくい状況があります。それは同時に、個別の活動の内容が、外部の人々と共有されにくい、という状況でもあると言えるのではないのでしょうか。

■また、個別具体的な取り組みに参加しながらも、SDGsの目標・ターゲットの全体像が見えづらくなり、意識されにくくなっている状況もあると考えられます。SDGsの重要な手法が、取り組み全体の現時点の到達度を指標として共有し、全体の到達度を勘案しながら、自分たちの取り組みを都度修正していく、という「指標の共有」にあると考えられ、これは現在不足していることではないかと考えます。

■上記の概況を鑑みて、大田区におけるSDGsの取り組みをさらに活性化するために、地域のSDGs活動情報紙を発行することが力になるのではないかと考えました。

## 活動目的

- 1)SDGsの目標やターゲットに関して出される情報を紹介する。
- 2)地域でのSDGsに関連する取り組みを取材・紹介する。
- 3)企業・団体に属さない個人や若い世代への、情報提供を通じた参加・交流への支援をする。

## 活動内容

- 1)フリーペーパー「おおたSDGsタイムズ」を発行する。
  - 当初目標は年4回程度とする。
  - 企画・編集会議を毎月1回開催する。
  - 紙の印刷部数は少部数に抑え、ウェブサイトで入手・印刷可能にする。
- 2)小規模な交流会やオンライン学習会も企画開催する。開催の時期や回数は未定。
- 3)スケジュール
  - 2021年11月 発行準備会開催
  - 2021年12月 第1回企画会議
  - 以降、毎月最終土曜日の15:00に企画会議を実施。
  - 2022年10月 第1号発行予定

**活動する団体名:**「おおたSDGsタイムズ」

**サポート団体:**大田ネットワーク(消費者団体)

**アドバイザー:**井田徹治さん(共同通信編集委員、環境ジャーナリスト)

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**